

# 現代短歌分類辭典

第百五十八卷

津 端 亨 編 簡

津 端 亨 篇 纂

現 代 短 歌 分 類 辭 典

第百五十八卷

現代短歌分類辞典

158

昭和六十一年四月十五日発行 定価二、五〇〇円

著者  
兼印刷者

津 端 亨

発行所 現代短歌分類辞典刊行所

代表 津 端 亨

〒  
111

東京都台東区鳥越一ノ十一ノ八

電話(03)851-1986九番

振替 東京 三一九三一四

# 目

おりーて  
織りーて  
おりーてーし  
おりーてーも  
おりーてーや  
おりてる  
おりどころ  
おりながれーたり  
おりなく  
おりなす  
おりなせーる  
おりなづむ  
おりーなむ

一三ニニ一ーーーーーーーー四  
元三 歌数

# 次

一玉玉玉玉玉玉元モモモモモモ元  
頁数

(第一百五十八卷)

おりならず  
おりーにーけらし  
おりーにーけらしーも  
おりーにーけり  
おりーにーけるーかも  
おりーにーけん  
おりーにーし  
おりーぬ  
おりーぬ  
織りーぬ  
おりーねーべし  
おりーのぼり  
おりーのぼりーば  
おりーのぼる

ニーーーー元ーー二セーーーー  
歌数

元元元元元元元元元元元元元元元  
頁数

おりはてーて  
 オリーブ  
 オリーブ園  
 オリーブの油  
 オリーブ  
 オリフィス  
 おりふせーり  
 織部  
 織部灯笼  
 おりーまじーし  
 おります  
 おりませーて  
 おりみだし  
 おりみる  
 おりーむ（未然形）  
 オリムピア  
 オリムピック  
 オリムボス

一一三六一ニ一ニ一一一三一八一

三三三四三四三四三四三四三四三四

---

おりめぐる	織物見学	織物	織元
おりやめーつ	おりゆかーず	おりゆかーむ	おりゆかーと
おりゆかーむ	おりゆかーむ	おりゆかーむ	おりゆかー
おりゆきー	おりゆきー	おりゆきー	おりゆきー
おりゆきーしつ	おりゆきーしつ	おりゆきーしつ	おりゆきーしつ
おりゆきーぬ	おりゆきーぬ	おりゆきーぬ	おりゆきーぬ
おりゆく（連体形）	おりゆく（終止形）	おりゆく（終止形）	おりゆく（終止形）
おりゆけーば			

---

六四五七一三九一六二一一四一

三三三四三四三四三四三四三四三四

おりゆけーり  
おりゆけーる  
おりーよう  
おりよーかし  
おりる  
おりれーば  
おりゐーし  
おりゐーうかべーる  
おりゐーし  
おりゐーしづめーり  
おりゐーず  
おりゐーたためーり  
おりゐーたむろす  
おりゐーたりーけり  
おりゐーつ  
おりゐーつ

ニ一一一一九ニ一一二セ五一一四

堯堯堯堯堯堯堯堯堯堯堯堯堯堯堯堯堯

おりゐーて  
おりゐーまよへーり  
織りゐる  
おりゐる  
おりをり  
おりーんーと  
オリムピア  
オリンピック  
オリンパス  
オリンピック  
オリンピック  
オリンピック  
競技  
新記録  
嶺記録  
オリンピック  
オリンピック  
オリンピック  
オリンピック  
オリンピック  
オリンピック  
織る  
オリ  
ンビ  
ア  
ク  
嶺  
新  
記  
録

元一一一一ニ一一ニ三ニ三一ニ一五

空空空空空空空空空空空空

おる  
オール  
オルガン  
オルガン工場  
オルゴール  
織るーと  
オルドミス  
織るーなり  
オルフイス  
織るーべかりーけり  
織るーらし  
おるーらむ  
おるる  
オルレアン

一ニ一一一一一一三セ一一三三九

お サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ

おるれーば  
おれ(俺)  
お礼演芸大会  
お料理  
お歴々  
俺自身  
俺達  
織れーば  
おれものらく  
俺等  
おれーり  
おれるーがーどき  
おれん(人の名)  
おれんさん(人の名)  
オレンジ色

一六一ニニニ一一一三一一一四三一

サ サ サ サ 先 先 先 先 先 先 先 先 夫 夫

おろおろ  
おろおろと  
おろおろに  
おろか（名詞）  
おろか（副詞）  
おろかおろかと  
おろかごころ  
おろかさ  
おろかし  
おろかしく  
おろかさびーて  
おろかしーごと  
おろかしさ  
おろかしーや  
おろかならーぬ  
おろかなりーけむ

一ニニ一一一元モ一七一一三一三一

一〇一〇一〇一〇一〇一〇九七七七七九九九九

おろかなりーし  
おろかなりーと  
おろかなるーにーき  
おろかなるーかな  
おろかなれーかも  
おろかなるーらし  
おろかなるーかな  
おろかはーれ  
おろかにー  
おろかーの  
おろかびーと  
おろがみーて  
おろがむ  
おろかもの  
おろかしき  
おろくぐし

一———一三六ニ一一三四一一五

一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇

おろさせーて

おろさーせーたまひーにーし

おろさしめーたり

おろさーせーぬ

おろさーねーば

おろさーばや

おろさーむ

おろさーる

おろされ

おろされーる

おろされーる

おろされーし

おろされーれーて

おろされーにーけり

おろされーれーぬ

おろさーん

おろし(下石)

おろし(風)

おろし(動詞)

おろしかねーつつ

おろしきーて

おろしくる

おろしけーば

おろしーけむ

おろしーけり

おろしーさる

おろしーし

おろしーた

おろしーたり

おろしーたて

おろしーしたて

おろしーたりーけり

おろしーたら

おろしーつ

一六一三一七二三一一一五三一五七

おろしーつ  
おろしーつ  
おろしーつ  
おろしーて  
おろしーぬ  
おろしはじめーぬ  
おろしむかふ  
オロシヤ  
おろしゆきーたる  
おろしゆきーけり  
おろしゆく  
おろしゐーつ  
おろしゐーぬ  
おろしゐる  
おろしをへーたる  
オロス  
おろす（終止形）

三二一一一三一一一三五三三一

三三三三三三三三三三三三三三三

おろすーと  
おろすーとーし  
おろす（連体形）  
おろすーべき  
おろすーらし  
おろせーらむ  
おろせ  
おろせーし  
おろせーど  
おろせーば  
おろせーり  
おろせーる  
おろそかならーず  
おろそかならーぬ  
おろそかならーむ  
おろそかなるーらし  
おろそかなるーらし

モ一一セ三ニニハニ一一一堯一三

三三三三三三三三三三三三

おろち（大蛇）

大蛇の直

オロツコ

オロツコ人

おろぬけーば

オロロン鳥

オロロン島

おーわかき

おーわかく

おーわかれ

オワシス

おわび

おーわらひ

御居間

おー絵

御会式

お笑み

三 四 一 一 一 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 五

大叔母

恩

愛

音

おんー足

おんーあしあと

おんー兄

おんー雨

おん息

おんーいさを

恩育

おんー意識

おんー椅子

おんーいたはしき

おんーいつくしさ

おんー一周忌

おんー

一

一 一 一 一 一 一 二 一 一 一 一 一 一 二 二 三 九 一

8

おん一命  
 おん一いのり  
 おん一祝酒  
 おん一臨終  
 おん一歌  
 おん一忌  
 おん一上  
 おん一馬  
 おん一おほせ  
 おん一面影  
 おん一面  
 おん一香  
 おん一香炉  
 音階  
 音樂家  
 音樂堂

四一三一一三二一一一三一一一一二

一垂一垂一垂一垂一垂一垂一垂一垂一垂

---

おん一影	おん一歌集
おん一肩	おん一下賜
御方	
おん一語り	
おん一歌	
おん一顔	
おん一骸	
おん一通路	
音感	
おん一穩	
おん一忌	
恩給	

(顔)

三一二二二一一一一一二一五一一一

一垂一垂一垂一垂一垂一垂一垂一垂一垂

恩給生活者

御經

音響

おん一口

おん一唇

おん一位

おん一頸玉

おん一けはひ

オングル

オングル島

おんこかき

おん一国母

おん一腰

おんこかき

おん一腰掛岩

おん一腰掛岩

おん一五十日

おん一聲葉

おん一言葉

おん一座

おん一最後

おん一像

おん一性格

おん一杯

おん一座像

恩賜

恩師

おんじき（飯食）

おん敷皮

一 天 一 六 二 一 一 一 二 四 一 一 二 二 四 一 一

一 天 一 六 二 一 一 一 二 四 一 一 二 二 四 一 一

おんじき物 恩賜館  
おん一膝下  
おん一延顔  
おん一誅言  
恩賞 音声  
円城寺 恩借  
飯食戒  
恩賜溫室  
おん一書斎  
おん一白髮  
おん一すがた  
おん一すぐせ  
おん一すこやかに  
おん一裾

一一一五一一一一二一四一一一一

一夫一夫一夫一夫一夫一夫一夫一夫一夫一夫一夫一夫

---

おん一背 御衣  
おん一僧等 おん一僧  
おん一そがひ おん一袖  
音速  
おん一側  
御田  
御嶽山  
御嶽嶺  
御嶽の山  
おん一旅  
おん一たなぞ  
オントリオコ  
おん一消息

一一一一一一二一一二一一一一

凸凸凸凸凸凸凸凸凸凸凸凸

音痴	恩寵	音痴
おんし	おん寵	おんし
おん—茶碗	おん—帳	おん—茶碗
オンツーカ	オン帳	オンツーカ
おん—壺	おん—手	おん—壺
おん—厨子	おん—手	おん—厨子
おん—手	おん—手	おん—手
おん—寺	おん—弟	おん—寺
おん—頭	おん—讀	おん—頭
おん—床	おん—年	おん—床
音戸の瀬戸	おん—年	音戸の瀬戸

一一一四七二一一一三一四一一一一

一金一金一金一金一金一金一金一金一金一金一金一金一金一金一金

---

音戸の港	おん—問ひ
おん—共に	おん—共に
オンドル	おん—名
おん—なきがら	おん—なじ
おん—なさけ	おん—なみ
おん—なやみ	おん—熱
おん—後半	おん—後半
音波	おん墓

二四一一二二四二一一三五三一一一

五五五五五五五五五五五五五五五五五五

おん おん おん おん おん おん おん おん  
ん ー 枢 ー 音 盤 ー 髪 ー 母 ー 花 ー は こ  
ん ー 微 笑 ー 膚 ー 膚 ー 肌 ー 肌 ー 膚  
恩 走 ー 恩 走 ー 恩 走 ー 恩 走 ー 恩 走  
おん おん おん おん おん おん おん おん  
ん ー 墓 所 ー 墓 所 ー 墓 所 ー 墓 所 ー 墓 所

一 二 二 二 一 五 一 一 二 二 一 一 二 二 二 一 二

五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

---

おん おん おん おん おん おん おん おん  
ん ー 瞳 ー 一生 ー 瞳 ー 一生 ー 瞳 ー 一生 ー 瞳  
隠 亡 隠 亡 おん おん おん おん おん おん おん おん  
ん ー 堀 ー 文 ー 船 ー 服 ー 二人 ー 召 艇 ー 臥 所 ー 音 符  
御 幣 おん おん おん おん おん おん おん おん  
御 秘 仏 おん おん おん おん おん おん おん おん  
おん ー 屏 風 ー 琵 琶 ー 一 生 ー 瞳 ー 一生 ー 瞳

一 六 一 一 一 一 一 一 一 一 二 一 一 一 一 一

100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100

於保大原  
おん一菩薩  
オンボツヲ  
おん一骨  
おん一墓標  
おん一顛  
おん一幕  
おん一枕辺  
おん一眼  
おん一眼下  
おん一まなざし  
おん一眉  
おん一守  
おん一前  
おん一まぶた  
おん一身

一ニニ→一一一三一三一ニ一

二四二五二六二七二八二九二十二十一二十二二十三

おん一酒  
おん一みちびき  
おん一自ら  
おん一耳  
おんみら  
おん一娘  
おん一胸  
おん一目  
おん一目録  
おん一森  
おんもりと  
おん一屋根  
おん一山  
おん一病  
おん一指  
おん一ゆかり

三一ニ一三ニ一→七三一一ニニニ一

二四二五二六二七二八二九二十二十一二十二二十三